

事業番号	11 05 02	事業改善シート(28年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	河川一般管理費			担当	部局	建設部	
				課	課・局・室	河川課	
総合5か年計画	プロジェクト	6-4-3 誇りある暮らし実現プロジェクト			E-mail	kasen@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開	4-1 地域防災力の向上 4 災害に強い地域づくり			実施期間	M29 ~	
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	6-3 大都市・海外との未来志向の連携					
	施策展開	4-(2) 信州に根付くつながりの継承 (イ) 住民主導による地域の活性化					

1 事業の概要

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ○河川巡視員等の配置により、河道及び河川管理施設の異常、不法占用、不法投棄物の早期発見及び是正により適切な河川管理を行う。 ○傷害保険加入により河川愛護および河川モニター活動環境の充実化を図り、持続的な活動及び広がりを支援する。 ○岩石採取及び砂利採取に伴う災害の防止を目的とした講習会、現場指導を実施し、災害防止に向けた取組を促進する。 ○河川の付け替え等により生じた廃川敷地の売却いや交換を計画的に進めることにより、河川敷地の適正な管理を行う。
現状(予算編成時)	<ul style="list-style-type: none"> ○河川敷地の不法投棄は減少しているものの、近年の河川パトロールにおける廃棄物の回収量は10t前後で横ばい状況にある。 ○愛護活動者の高齢化が進んでいるほか、近年の活動人数は横ばい状況にある。 ○廃川敷地の測量及び鑑定を実施して、計画的に廃川処理を行っている。 ・河川巡視実施距離(延べ延長) H26年度:6.1万km ・河川愛護活動人員(延べ人数) H26年度:17.3万人

県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 河川法、砂利採取法、採石法、長野県水環境保全条例
	県民との協働による実施: 実施中	

成果目標・事業内容	① 成果目標(H28)			
	<ul style="list-style-type: none"> ・河川巡視実施距離 6.0万km/年(延べ延長) 河川巡視対象延長 約5,000km×12ヶ月 ・河川愛護活動人数 17.3万人/年(延べ人数) 			
	② 事業内容 (単位:千円)			
	項目	実施方法	H28事業実績	H28 (当初) (決算) H29 (当初)
	1 河川巡視員設置	直接	河川巡視員配置(延べ配置日数:2,160日/年)	17,966 17,187 18,460
	2 河川愛護活動支援事業	直接	活動者の傷害保険の加入 愛護団体標識の設置	1,068 1,431 1,455
	3 河川モニター設置	直接	モニター活動者の傷害保険の加入	59 59 59
	4 採石、砂利採取災害防止講習会等	直接	採石、砂利採取災害防止講習会、岩石採取場災害防止技術指導、職員現場講習会	462 1,510 461
	5 河川名標識設置	直接	河川区域境界杭設置、河川起点杭設置、河川名標識設置、河川注意標識設置	521 471 521
	6 廃川敷地不動産鑑定等	直接	廃川敷地測量 廃川敷地不動産鑑定	5,788 2,215 5,500
7 河川占用台帳電算処理	委託	河川占用許可台帳システムの保守・点検及び河川占用料徴収漏れ防止のためのシステム改修・改善を実施	540 3,276 459	
8 諏訪湖環境改善検討事業	直接	シジミの放流試験のための試験ヤード整備 (沿岸部覆砂:1ha)	83,612 83,612 0	
9 河川占用料コンビニ収納代行	委託	占用者に利便性の高い支払手段を提供し、徴収率向上を図るためコンビニ収納を実施	- - 13	
合計			110,016 109,761 26,928	

事業コスト	区分(単位:千円)	27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況							
	予算額	前年度繰越	0	0		項目	H26末	H27末	H28			H29 目標
		当初予算	28,238	110,016	26,928				目標	成果	達成状況	
		補正予算	0	0		河川巡視実施距離	6.1万km	6.2万km	6.0万km	6.6万km	達成	6.0万km
		合計(A)	28,238	110,016	26,928				河川愛護活動人数	17.3万人	17.2万人	17.3万人
	Aの財源	一般財源	0	83,612	0							
		県債	0	0	0							
		国庫支出金	0	0	0							
		その他	28,238	26,404	26,928							
		決算額(B)	26,357	109,761								
概算人件費	職員数(人)	0.32	0.32	0.32								
	概算人件費(C)	2,648	2,532	2,532								
概算事業費(B(A)+C)		29,005	112,293	29,460								

目標に対する成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・河川巡視実施距離の増加により、河川の日常管理の充実が図られ、目標を達成した。 ・河川愛護活動団体数は前年から増加(H27:868団体⇒H28:936団体)しており、河川愛護思想の普及などの継続した活動が図られているが、活動人数は昨年度から1万人ほど減少し、目標を達成できなかった。要因として、活動参加者の高齢化が考えられる。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 住民との協働による河川の維持管理を推進するため、平成29年度以降も引き続き、活動を支援(報償費、傷害保険の加入等)を継続するとともに、平成25年度から「わがまちの川」美化事業を導入し、作業しやす環境づくりを進めることで、将来にわたり活動の継続と活動者の増加を図る。また、「泳ぎたくなる諏訪湖」、「シジミが採れる諏訪湖」を目指し、諏訪湖環境改善事業として遠浅のなぎさ整備等を実施していきたい。
--------------------	--